| 授業科目名・形態 | 基礎看護技術論Ⅰ（日常生活援助）講義 | 必修・選択の別 | 必修 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|
| 科目担当者氏名 | 小畑千春・黒澤繭子・小玉光子・千葉美穂 | 実務経験の有無 | 有 | 開講期 | １年前期 |
| 科目ナンバリング | N4-1004npmht | | | | |

**【授業の主題】**

看護技術の対象は人間であり、提供する看護者は、その技術を受ける人の反応全体を捉え、個々の状況に応じて変化させる柔軟な対応を必要とする。看護技術の実施にあたって、はじめに各看護技術の基礎的な知識と標準的な方法を習得する。この授業では、看護師業務の「療養上の世話」の内容・援助方法について学習する。

**【到達目標】**

1. 日常生活の援助に関する基礎知識を学び、援助技術一つひとつの基礎となる要素とその根拠を理解できる。
2. 日常生活の援助（快適な環境整備、食事、排泄、活動、休息、清潔など）に対する援助方法を理解できる。

**【授業計画・内容】**

第 1 回　看護技術とは何か　看護技術の特徴・基盤（小畑他）
第 2 回　環境調整技術（小玉）
第 3 回　活動・休息援助技術（1）基本的活動の基礎知識　体位・体位変換（小畑）
第 4 回　活動・休息援助技術（2）移動・移乗・移送　体位保持（小畑）
第 5 回　活動・休息援助技術（3）睡眠・休息の援助（小畑）
第 6 回　清潔・衣生活援助技術（1）清潔の援助（黒澤）
第 7 回　清潔・衣生活援助技術（2）衣生活の援助（黒澤）
第 8 回　清潔・衣生活援助技術（3）全身清拭援助（黒澤）
第 9 回　清潔・衣生活援助技術（4）洗髪援助（黒澤）
第 10 回　排泄援助技術（1）自然排尿・排便の介助（千葉）
第 11 回　排泄援助技術（2）導尿・排便を促す援助（千葉）
第 12 回　ヘルスアセスメント（1）バイタルサイン（小畑）
第 13 回　ヘルスアセスメント（2）身体計測（小畑）
第 14 回　感染防止の技術（1）（小畑）
第 15 回　まとめ（小畑他）

**【授業実施方法】**

講義形式で行う。

**【事前・事後学修】**

授業内容に関連した教科書の該当頁を事前に読むなど講義内容に関する事前学習を毎回 2 時間以上行い授業にのぞんでください。また、講義内容を踏まえ、演習につなげるために復習を毎回 2 時間以上行い、理解を深めてください。

**【主な関連する科目】**

総合科目、専門基礎科目、看護学概論、基礎看護技術演習Ⅰ

**【教科書等】**

茂野香おる他：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅰ　基礎看護学２　第 19 版　医学書院　2023
任和子他：系統看護学講座　専門分野　基礎看護技術Ⅱ　基礎看護学３　第 19 版　医学書院　2025

**【参考文献】**

医療情報科学研究所　編：看護がみえる vol. 1　基礎看護技術　第 2 版　メディックメディア　2024
医療情報科学研究所　編：看護がみえる vol. 2　基礎看護技術　第 1 版　メディックメディア　2018
医療情報科学研究所　編：看護がみえる vol. 3　フィジカルアセスメント　第 1 版　メディックメディア　2019
吉田みつ子、本庄恵子編著：新訂版　写真でわかる実習で使える看護技術アドバンス　インターメディカ　2020

**【成績評価方法】**

筆記試験（95%）、授業態度・課題レポート（５%）により総合的に評価する。

**【実務経験及び実務を活かした授業内容**

医療法人の病院で看護職として患者への看護業務の実践、業務基準に関する指導や教育の経験があります。そこで経験した看護実践をもとに、看護技術の原理・原則の必要性等を伝えたいと思います。

**【学生へのメッセージ】**

看護技術の基本となりますので、予習・復習をしっかり行ってください。患者さんに安全で安楽な看護技術を提供できるよう知識・技術を習得しましょう。